

青年部員の労苦には目に見える回答を

「第2回交渉～要求の根拠～」

中央本部は3月3日(水)に「第2回交渉」を行いました。要求の根拠について詳しくは「～道しるべ～ No.29」をご参照ください。新型コロナウイルスの感染拡大、自然災害による輸送障害も多発した中で職場の青年部員は指定公共機関の使命を担ってきました。にもかかわらず職場では老朽化した設備の改善や慢性化する要員不足などの問題が解決されないままです。「人事制度に対する不安」「低賃金や労働条件への不満」「会社の将来展望への不安」から若手だけでなく中堅、シニアの組合員の退職も発生しています。この現実を会社経営陣は認識しているのでしょうか？

青年部員と会社経営陣との感覚は大きくかけ離れています！！

単体・連結経常利益黒字の計画達成におけ大幅な黒字計画とするのであれば、会社の支払い能力は十分にあります。青年部員の労苦に報いるべきであり、納得できる回答を求めます。

- 基本給表の見直しを含めたベアの満額回答
- 家族手当を基準内賃金とすること

を強く求めていきます。基本給表の見直しが本当の給料の底上げとなります。家族手当については家族を養う青年部員から悲痛な声が上がっています。統一職場集会や現場長要請行動に積極的に参加し、一緒にたたかいを作っていきましょう！会社は組合員の動きをよく見えています。

青年部員が全員で春闘を意識することが

ベースアップや諸要求を勝ち取る第一歩となります。

青年部員一丸となって、2021春闘を たたかっていきましょう！